

青森大学 データサイエンス・AI リテラシープログラム

○青森大学 データサイエンス・AI リテラシープログラムとは

今日、ビッグデータの収集・蓄積・分析や AI を活用することにより、我々の社会が抱える様々な問題の解決や新たな価値を創造が期待されています。そのため、数理・データサイエンス・AI に関する知識・技能について、文理を問わず、初級レベルの基礎事項を習得しておくことが重要になってきています。このような社会の要請を受けて、本学においても令和 4 年度より、「データサイエンス・AI リテラシープログラム」（以下、本プログラムという。）を開設しています。

○履修生が本プログラムにおいて身に付けることができる能力

- ・社会においてデータおよび AI がどのように利用され活用されているかについての理解
- ・データを（読む、説明する、扱う）能力
- ・データ・AI を扱う上での留意事項の理解

○対象

- ・全学部生

○履修方法

本プログラムを履修するために特別な手続きは不要です。対象科目となるについて通常通りの履修登録をして下さい。

○修了要件

- ・総合経済学部、社会学部、薬学部
「情報の収集・分析」（1 単位）、「情報社会と情報倫理」（2 単位）
- ・ソフトウェア情報学部
「情報リテラシー」（2 単位）、「情報社会と情報倫理」（2 単位）

開設される授業科目とモデルカリキュラムとの対応

モデルカリキュラムの構成・学修内容	対応する科目名（開設される授業科目）
1.社会におけるデータ・AIの利活用	「情報社会と情報倫理」（全学共通）
2.データリテラシー	「情報の集計と分析」 （経営学部、社会学部、薬学部） 「情報リテラシー」 （ソフトウェア情報学部）
3.データ・AI利活用における留意事項	「情報社会と情報倫理」（全学共通）

○開設される授業科目の方法及び内容等について

対象となる科目の各シラバスを参照願います。

[参考]シラバス検索ページ

↓↓

https://aomoriu-web.campusplan.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

○実施体制

令和3年度より教務委員会にて基礎スタンダード科目内で本プログラムの対象となる科目の選定、授業内容の工夫等について議論を重ねてきました。

令和4年度よりデータサイエンス・AIリテラシープログラムと位置付けした科目の運用を開始し、学生の皆さんへのプログラム履修などについてサポートを行っております。

○自己点検・評価

自己点検評価・認証評価審査対策委員会を中心に、関連する委員会および教職員により本プログラムの履修・取得状況データの確認や分析などを行い、関連プログラムの内容や学生の皆さんへの支援体制などについて不断の見直しを行うような取組体制を取っております。

本プログラムは、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」への申請を予定しています。

[参考]

文科省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」

↓↓

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00002.htm